

平成25年度決算に係る

定期監査
調査
決算審査
調書

平成26年8月

地域振興部とっとり暮らし支援課

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	2
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書（総括表）	1 2
8	事業別実施状況調べ	1 3
9	予備費の充用調べ	1 4
10	繰越関係調べ	1 4
11	収入証紙取扱額調べ	1 4
12	収入事務処理状況調べ	
	(1)～(5)	1 4
	(6)諸収入、(7)現金の取扱状況	1 5
13	税外収入未済額調べ	1 5
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	1 5
15	税外収入不納欠損額調べ	1 5
16	債務負担行為の状況調べ	1 5
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	1 6
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2)補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	1 9
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	1 9
19	財産に関する調べ	2 0
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	2 0
21	借受不動産明細調べ	2 0
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	2 0
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	2 0
24	寄附物件の受納状況調べ	2 0
25	備品の処分状況調べ	2 0
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	2 0
27	貸付金等状況調べ	2 0
○	意見、要望等	2 1

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況等
<p>○中山間地域振興に係る支援制度の対象について(文書)</p> <p>中山間地域の振興を図ることを目的として、生活応援・地域活性化等の取組を支援する制度が設けられている。</p> <p>支援制度は市町のほか、企業、農商工団体、広域的運営組織、NPO、集落等の取組を支援するものであるが、現状では、地域活性化等の取組を行おうとする団体等があっても、市町の補助を条件としている場合には、市町が取り組まなければその団体は支援を受けることができない。</p> <p>補助事業のメニューが多様化する中、取り組みたい団体のニーズに合わせてタイムリーに支援するためには、市町の補助を条件とするスキームがなじまない場合も生じるものと考える。</p> <p>についてはやる気のある団体等を支援し、中山間地域における地域活性化を図るためにも、中山間地域に係る支援制度の対象に、市町のほか、直接事業を実施する団体等も含めることができるよう、実態を踏まえ柔軟に対応されたい。</p>	<p>中山間やまちなか振興をはじめとした地域づくりは、地域に最も身近な市町村の関与が不可欠であり、これまでも各市町村において県が設ける事業の趣旨に御理解をいただき、市町村を通じた支援を行っている。</p> <p>一方で、今回の監査意見のように、地域活性化等の取り組みを行おうとする民間団体等があっても、市町村の補助を条件としている場合には、市町村が取り組まなければその団体は支援を受けることができないとして、県に対しより柔軟な対応を求める御意見もある。</p> <p>他方、県では既にいくつかの分野で直接支援を導入済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非営利活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> :鳥取力創造運動支援補助金 ・地域の要援護者への支援 <ul style="list-style-type: none"> :とっとり「支え愛」体制づくり補助金 <p>このため、市町村の御意見も伺い、平成26年度より中山間地域やまちなか振興分野に関して、地域活性化に係るソフト事業を中心に、市町村による推薦を前提としつつ、県が直接民間団体に支援するスキームを導入した。</p> <p>【民間団体に直接支援する事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業(ソフト事業) ・中山間集落活力創出若者活動支援事業(活動及び報告への支援) ・まちなか暮らし総合支援事業(ソフト事業)

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

指摘事項	措置てん末
<p>○中山間地域における移動販売車の支援について(口頭)</p> <p>過疎化・高齢化が進行する中山間地域等で生活する皆さんが安心して暮らせるような生活サービスや支え合いの仕組みづくりなどの取組を支援する一環として「移動販売車等導入支援事業16,235千円」、「移動販売車運営費助成1,582千円」が実施されています。</p> <p>中山間地域等において交通手段のない方の生活を支え、加えて、安否確認などの声掛けが行われており、福祉的な取組として行政が助成すべきものとして一定の評価ができます。</p> <p>今後は、福祉保健部等とも十分に協議を重ね、中山間地域の住民福祉の向上に資する公的支援としてふさわしい制度となるよう更に工夫すべきであります。</p>	<p>今後移動販売の収益性の悪化が懸念される中で、事業の継続性を確保していくため、買い物サービスを基本としながら、地域の複合的な生活支援システムとしての構築を目指すため、平成24年度から鳥取大学と連携し、移動販売のあり方について実証研究を実施しているところ。</p> <p>平成25年度は、鳥取大学と共同で設けた検討会において、移動販売の業務の中に福祉的な側面があることが判明した。</p> <p>平成26年度はこれまでの分析結果に基づき、買い物支援の先進地域である日野郡をモデルとして、持続可能な生活支援の新たな仕組みを関係の町や福祉保健部などと連携しながら現地検証していく予定としている。</p>

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
とっとり暮らし支援課	中山間・まちなか振興担当	○過疎・中山間地域等の地域振興に関すること ○街中の過疎対策及び振興に関すること ○県外からの移住定住の促進に関すること
	移住定住促進担当	

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	
定員	9	9	2	2	0	0	11	11	うち派遣3
現員	9	8	2	3	0	0	11	11	うち派遣3
過不足(△)	0	△1	0	1	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	2	0	0	0	0	1	2	職種：事務1

5 役付職員の調べ

(平成26年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	尾崎 史明	2年	4月	
課長補佐	森田 哲	1	7	
課長補佐	岸田 絵理子	2	4	
課長補佐	前田 康博	2	4	
課長補佐	遠藤 真由美		4	ふるさと鳥取県定住機構派遣

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要												
<p>若者定住等による集落活性化総合対策事業</p> <p>決算額 8,901千円</p> <p>(財源内訳) 繰入金 (とっとり支え愛基金繰入金) 7,401千円 (※以下基金繰入金と標記する。)</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ【つなげる】様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p> <p>○政策項目 多様な主体が連携した中山間地域振興の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 小規模高齢化集落の限界化に歯止めをかけ、将来に向けてその解消を図るため、将来の集落を担う新たな人材とされる移住者を確保し、小規模高齢化集落を含む地域が一体となって行う地域の保全、地域活性化に向けた取組について、市町村等と連携して総合的かつ重点的に支援する。(市町村への間接補助金の交付)</p> <p>(イ)事業の実施状況 ○若者定住等による集落活性化総合対策事業費補助金(2/3補助) (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="475 667 1417 1070"> <thead> <tr> <th>市町村(集落)</th> <th>県補助金額</th> <th>主な取り組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>智頭町(A集落)</td> <td>6,568</td> <td>集落に2組の家族を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・地域活性化活動支援(移住者が取り組む農業の機械等整備への支援) ・集落での交流イベントの開催</td> </tr> <tr> <td>智頭町(B集落)</td> <td>833</td> <td>集落に1名の移住者を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・集落での鳥獣対策用の柵設置</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,401</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○過疎集落等への移住を呼びかけるパンフレットを作成 1,500千円 過疎集落等に実際に移住された方の声を紹介し、鳥取県への移住を呼びかけるパンフレットを作成した(A4版8頁、カラー刷り10,000部)。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・特になし(新規事業)</p> <p>ウ 成果 当該事業を活用している集落では、移住者が集落の活動にも協力的で、集落にも歓迎され溶け込んでいる。若い家族の空き家への転入により集落が若返り、集落の高齢者も元気になり、集落を残していこうという意欲が高まっている。 また、移住者も一緒になったイベント実施・情報発信により、県内外からの来訪者で集落が賑わい、集落への刺激にもなっており、今後の集落の活性化への効果が期待される事例となっている。</p> <p>エ 課題 平成25年度新規事業であり、取り組んだ集落は智頭町の2集落のみであった。 今後は、市町村の協力を得ながら取組集落の事例を増やすとともに、取組集落での成果や課題等を検証し、利用しやすい補助事業となるよう、メニュー等の改善を図っていく必要がある。</p>	市町村(集落)	県補助金額	主な取り組み	智頭町(A集落)	6,568	集落に2組の家族を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・地域活性化活動支援(移住者が取り組む農業の機械等整備への支援) ・集落での交流イベントの開催	智頭町(B集落)	833	集落に1名の移住者を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・集落での鳥獣対策用の柵設置	合計	7,401		
市町村(集落)	県補助金額	主な取り組み												
智頭町(A集落)	6,568	集落に2組の家族を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・地域活性化活動支援(移住者が取り組む農業の機械等整備への支援) ・集落での交流イベントの開催												
智頭町(B集落)	833	集落に1名の移住者を受け入れ ・移住者生活支援(奨励金交付) ・集落での鳥獣対策用の柵設置												
合計	7,401													

事業名	概要	要																																										
<p>みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業</p> <p>決算額 17,227千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,613千円 基金繰入金 11,614千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ【つなげる】 様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心 「支え愛」まちづくりの展開</p> <p>【地域遊休施設活用支援事業】 (H25.9月補正では地域活性化のための空き家等活用促進事業として予算計上) 決算額 11,953千円 (財源内訳) 一般財源 11,953千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 過疎化・高齢化が進行する中山間地域等において生活する人々が、安心して暮らせるような生活サービスや支え合いの仕組みづくりなどの取組を支援するとともに、集落機能の低下などにより活力の低下が危惧される地域において、広域的な地域運営組織づくりや、地域活性化の取組を行う団体等を支援することを目的として補助金を交付する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>○買い物支援事業</p> <p>■移動販売車等導入支援(1/2助成) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者(地区名)</th> <th>県補助金額</th> <th>主な取り組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者A(農協) (鳥取市)</td> <td>3,173</td> <td>移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)</td> </tr> <tr> <td>事業者B (鳥取市)</td> <td>3,158</td> <td>移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■移動販売車運営費助成(地方機関執行、12件) 移動販売車の運営費(燃料代、車検代等)の1/2助成</p> <p>○地域活性化支援事業(地方機関執行、2件) 伝統文化、まちむら交流等への1/3助成</p> <p>○地域資源活用型コミュニティビジネス支援事業(地方機関執行、2件) 地域資源を活用して住民が実施するビジネス開始への1/3助成</p> <p>○安心して暮らす生活環境づくり支援事業(地方機関執行、3件) 自然災害から生活を守るための取組への1/3助成</p> <p>○小規模高齢化集落応援事業(定額300千円助成) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者(地区名)</th> <th>県補助金額</th> <th>主な取り組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者C(智頭町)</td> <td>300</td> <td>智頭町新田集落の地域活性化支援(イベント開催)</td> </tr> <tr> <td>事業者D(智頭町)</td> <td>273</td> <td>智頭町八河谷集落の地域活性化支援(イベント開催)</td> </tr> <tr> <td>事業者E(伯耆町)</td> <td>253</td> <td>伯耆町富江集落の地域活性化支援(意見交流会)</td> </tr> <tr> <td>事業者F(江府町)</td> <td>276</td> <td>江府町西成・吉原集落の生活支援(農作業支援)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,102</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【地域遊休施設活用支援事業】(1/2助成) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者(地区名)</th> <th>県補助金額</th> <th>主な取り組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者G(湯梨浜町)</td> <td>7,228</td> <td>漁港の空き倉庫を改修し、水産物加工・販売を開始</td> </tr> <tr> <td>事業者H(八頭町)</td> <td>4,725</td> <td>JAの空き支店を改修し、農の交流館としてレストラン、直売所等を開始</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,953</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み	事業者A(農協) (鳥取市)	3,173	移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)	事業者B (鳥取市)	3,158	移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)	合計	6,331		事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み	事業者C(智頭町)	300	智頭町新田集落の地域活性化支援(イベント開催)	事業者D(智頭町)	273	智頭町八河谷集落の地域活性化支援(イベント開催)	事業者E(伯耆町)	253	伯耆町富江集落の地域活性化支援(意見交流会)	事業者F(江府町)	276	江府町西成・吉原集落の生活支援(農作業支援)	合計	1,102		事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み	事業者G(湯梨浜町)	7,228	漁港の空き倉庫を改修し、水産物加工・販売を開始	事業者H(八頭町)	4,725	JAの空き支店を改修し、農の交流館としてレストラン、直売所等を開始	合計	11,953		
事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み																																										
事業者A(農協) (鳥取市)	3,173	移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)																																										
事業者B (鳥取市)	3,158	移動販売車導入(1.5tトラック、冷凍冷蔵バン架装仕様)																																										
合計	6,331																																											
事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み																																										
事業者C(智頭町)	300	智頭町新田集落の地域活性化支援(イベント開催)																																										
事業者D(智頭町)	273	智頭町八河谷集落の地域活性化支援(イベント開催)																																										
事業者E(伯耆町)	253	伯耆町富江集落の地域活性化支援(意見交流会)																																										
事業者F(江府町)	276	江府町西成・吉原集落の生活支援(農作業支援)																																										
合計	1,102																																											
事業者(地区名)	県補助金額	主な取り組み																																										
事業者G(湯梨浜町)	7,228	漁港の空き倉庫を改修し、水産物加工・販売を開始																																										
事業者H(八頭町)	4,725	JAの空き支店を改修し、農の交流館としてレストラン、直売所等を開始																																										
合計	11,953																																											

事業名	概要	要
	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の遊休施設を有効活用し、地域住民の交流の拠点とすることで地域の活性化を進めるため、9月補正で新たに地域遊休施設活用支援事業を追加した。 ・外部委員による審査が必要なものを除き、各総合事務所等の中山間地域振興チーム(担当)に事業の執行権限を委譲し、現場により近いところに裁量を任せた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の車を所有しない高齢者等の買い物支援とともに、自宅まで戸別訪問することにより見守りに寄与し、買い物支援の取組みが県下ほぼ全域に広がりつつある。 ・小規模高齢化集落においては、今までは活発な活動が少なく若者が不在のため新たな取組が少なかったが、4集落において外部の若者による地域活性化が図られ、住民から大変好評であった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町への間接補助ということもあり、タイムリーに事業の活用ができないとの声があったため、26年度にはソフト事業を中心に民間への直接補助が可能な形に改善することとなった。 ・引き続き地域の方々及安全で安心して暮らしていくことができる地域づくりに市町村と連携して取り組んでいく必要がある。 	
<p>中山間地域活力創出若者活動支援事業</p> <p>決算額 1,804千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,804千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ【つなげる】様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p> <p>○政策項目 多様な主体が連携した中山間地域振興の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 大学生等による自発的な地域づくりの実践活動を支援することにより、大学生等による地域の課題解決やニーズに対応する活動を促進し、中山間地域の活力創出につなげる。</p> <p>(イ)事業の実施状況 NPO法人学生人材バンクに委託をして、鳥取県内で集落活動を行う県内外の大学生等を対象にした学生フォーラムを開催した。学生フォーラムには鳥取大学、鳥取環境大学、明治大学、早稲田大学などの学生や地域住民約100名が参加し、活動報告や情報交換、交流等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年8月9～11日 ・場所 三朝町および三朝町総合文化ホール ほか <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし(新規事業) <p>ウ 成果 学生フォーラムの開催により、学生の県内での活動報告や意見交換を通して、学生同士の横のつながりが生まれて県内での新たな活動、活力創出につながった。</p> <p>エ 課題 学生フォーラムでは参加する学生団体毎の取組に対する温度差が見受けられた。中山間地域若者集落活動支援事業費補助金の活用促進も図りながら、活動する学生の意識を高め、学生と地域のつながりを深めていく必要がある。</p>	

事業名	概要	要
<p>中山間地域の持続可能な生活支援システム実証事業</p> <p>決算額 3,360千円</p> <p>(財源内訳) ・基金繰入金 3,360千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ【つなげる】様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心 5「支え愛」まちづくりの展開</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 今後移動販売の収益性の悪化が懸念されるなかで、事業の継続性を確保していくため、買物サービスを基本としつつ、地域に必要な副次的なサービスを加えるなど、地域の生活支援システムとしての構築を目指すとともに、販売事業者との縁組みを行うその仕組みづくりを検討・実証する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学と連携し、中山間地域生活支援システム検討会を設置し、買物支援の先進地域である日野郡をモデルとして持続可能な生活支援の新たな仕組みを検討及び検証した。 ・中山間地域における人口減少や消防法改正による設置規制の強化などにより、燃油販売事業者の減少が懸念される中で、鳥取大学に地域の実態と今後の方向性に関する調査を委託した。 ・商店のない集落や地域に暮らす人々等から買い物に対する要望を取り次ぎ、市町を經由して移動販売事業者等へつなぐことにより、買い物困難地域の解消を図るよう努めた。 <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし(新規事業) <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学からの提案:買い物支援にかかる基本的な方向性 人々の生活を幅広く、また継続的に支援するためには、販売サービス等の様々なサービスを一つの組織が複合的に供給する体制とすることが有効。併せて、本来的/副次的なサービスの考え方、ならびに、民間企業と行政との役割分担を見直し、持続的かつ効率的な運営体制を整えることが必要と考える。 ・燃油販売事業者について、現状では多数の人が困っている状況にはないが、多くの給油所が撤退するなどの状況の発生が見込まれる場合には、給油所等の維持など抜本的な対策が必要となる。 ・買い物不便相談窓口には、平成25年6月開始後23件の相談があり、該当市町と連携しながら解決に向けての調整を図った。 ・今後に向けた取組として、平成26年度は町包括支援センターと連携し、見守りと販売を合わせた買い物福祉サービス事業をモデル的に実施予定。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の福祉的な側面に着目し、企業活動を基本としつつも公的支援にふさわしい部分を明らかにしながら、持続可能な支援のあり方を確立していく必要がある。 	
<p>中山間地域集落セルフチェック事業</p> <p>決算額 1,644千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 1,644千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱつなげる (4)中山間地域の住</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 中山間地域集落の居住・生活・産業等の基本データを市町村とともに整理・提供することにより、地域住民の方々に集落や地域の将来を見通して現時点で取り組むべき課題を認識いただくとともに、内発的な議論や提案による地域活性化を促進する。</p> <p>(イ)事業の実施状況 鳥取環境大学へ委託して、市町の意見を取り入れながら「とっとり集落創造シート」を開発した。集落及び広域的運営組織の人口推計、生活基盤の状況、確認・点検等7つのシートに分かれており、集落での話し合いのきっかけとなるような集落支援ツールとして完成した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし(新規事業) 	

事業名	概要						
<p>民生活の安全・安心を確保した「持続可能な地域づくり」</p> <p>○政策項目 多様な主体が連携した中山間地域振興の推進</p> <p>中山間集落見守り活動支援事業</p> <p>決算額 130千円</p> <p>(財源内訳) 基金繰入金 130千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱつなげる (4)中山間地域の住民生活の安全・安心を確保した「持続可能な地域づくり」</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心 5「支え愛」まちづくりの展開</p>	<p>ウ 成果 平成25年度末で11市町597集落のシートが完成し、一部集落で現地活用が開始され始めた。26年度当初には更に拡大する見込み。</p> <p>エ 課題 シート開発については、グラフ連動機能等若干修正が必要な部分があるため、検討の必要がある。 また、今後のシートを活用した現地でのワークショップ開催など、現地での活用を促進する仕掛けが必要となっている。</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 中山間地域等で事業活動を行っている事業者と、市町村及び県との間において、高齢者等の見守り活動を行うための協定を結び、住民の日常生活の異常を早期発見する体制を整備し、安全で安心して生活できる地域づくりを推進する。 (イ)事業の実施状況 事業者への事業紹介、参加申込み事業者と市町村とのマッチングを行うなどにより、平成25年度は1事業者と協定を締結した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 見守り事業者への訪問などを通じて事業周知を徹底するとともに、東・中・西各地域で意見交換会を開催するなどして、意識の向上に努めた。</p> <p>ウ 成果 ・平成25年度は1事業者と協定を締結し、平成20年度からの累計は53事業者となった。 (平成26年6月18日にさらに2事業者と締結したことにより、55事業者に増加) ・この活動により、高齢者等の安否を早期に確認できた事例もある。 ・事業者の社会貢献(CSR)活動として認識され、参加事業者も増加し、セーフティネットの取組が県内に広がった。</p> <p><協定締結状況(平成25年度実績)></p> <table border="1" data-bbox="496 1397 1232 1480"> <thead> <tr> <th>締結日</th> <th>事業者名(業種)</th> <th>対象市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月8日</td> <td>(株)米子高島屋</td> <td>南部町</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題 ・引き続き協定締結事業者の拡大と、事業者の意欲向上を図っていく必要がある。</p>	締結日	事業者名(業種)	対象市町村	4月8日	(株)米子高島屋	南部町
締結日	事業者名(業種)	対象市町村					
4月8日	(株)米子高島屋	南部町					

事業名	概要									
<p>まちなか暮らし総合支援事業</p> <p>決算額 395千円</p> <p>(財源内訳) 基金繰入金 395千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱ【つなげる】 (6)魅力あふれ、人が集う「にぎわいまちづくり」</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心 ⑤「支え愛」まちづくりの展開</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 市街地等の「まちなか」における人口の減少、高齢化の進展、商店街の衰退等に伴う、買い物弱者の発生、交通不便、空き家の増加、災害時対応への不安、コミュニティ活動の停滞等の新たな課題に対応し、地域住民が安心して元気に暮らせる「まちなか」の実現を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>■ソフト事業 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="459 546 1426 869"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>県補助金額</th> <th>主な取り組み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米子市</td> <td>(395)</td> <td>地域づくり推進事業 車尾地区、永江地区をモデルに、地域住民が主体となって住みよい地域づくりを推進するための体制整備と、地域と行政の適切な役割分担や更なる連携推進に向けた仕組みづくり、基盤組織の自治会加入の促進を図る。(先進地視察、未来づくりトーク、住民意識アンケート調査、啓発たよりの発行など)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(395)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(※西部総合事務所において執行)</p> <p>ハード事業(空き家(中古物件等)を活用したまちなか居住の促進に資する事業)についても鳥取市が申請し取り組まれたが、応募がなくゼロ精算となった。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 なし(新規事業)</p> <p>ウ 成果 米子市の旧新興住宅地等におけるコミュニティ活性化のみならず、各地のまちなかで活動する組織・団体との関係の構築を通じ、新年度に向けて民間主導の地域活性化の取組の芽がいくつか出てきているところ。</p> <p>エ 課題 市を通じての支援という仕組みであり、地域おこしに係る組織・団体や各市からは、「制度が使いにくい」との声が強い。このため、平成26年度からはソフト事業を中心に一部で県が団体に直接支援する制度を導入した。 今後も引き続き各種活動団体や市とも情報交換を行いながらまちなか活性化の活動を促進していく必要がある。</p>	地区名	県補助金額	主な取り組み	米子市	(395)	地域づくり推進事業 車尾地区、永江地区をモデルに、地域住民が主体となって住みよい地域づくりを推進するための体制整備と、地域と行政の適切な役割分担や更なる連携推進に向けた仕組みづくり、基盤組織の自治会加入の促進を図る。(先進地視察、未来づくりトーク、住民意識アンケート調査、啓発たよりの発行など)	合計	(395)	
地区名	県補助金額	主な取り組み								
米子市	(395)	地域づくり推進事業 車尾地区、永江地区をモデルに、地域住民が主体となって住みよい地域づくりを推進するための体制整備と、地域と行政の適切な役割分担や更なる連携推進に向けた仕組みづくり、基盤組織の自治会加入の促進を図る。(先進地視察、未来づくりトーク、住民意識アンケート調査、啓発たよりの発行など)								
合計	(395)									

事業名	概要	要
<p>とっとり移住定住支援事業</p> <p>決算額 70,346千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 70,336千円 その他10千円</p> <p>○将来ビジョン II つなげる (3) 定住人口の増加をめざして (以下同じ)</p> <p>○政策項目 V 彩り、輝き－鳥取の誇り 8 ようこそようこそIJU(移住)2千人プロジェクト</p> <p>【とっとり暮らし定住促進モデル事業】 決算額 2,920千円 (財源内訳) 一般財源 2,920千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 平成23年度から平成26年度までの4年間での移住者2000人の受け入れを目標に、IJUターンを検討・希望される方の視点に立ち、とっとり暮らしに関する情報発信や住宅、就職・就業等の相談を総合的かつ一元的に実施するとともに、市町村における相談・受入体制の整備等を進めるなど、本県を移住先として選んでいただくためのきめ細かなサービスの提供に努めることで、本県への移住定住の促進を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>1 情報発信及び相談業務の総合的かつ一元的な実施 「鳥取県移住定住サポートセンター」の相談及び情報発信業務を、(公財)ふるさと鳥取県定住機構へ委託するなど、本県へのIJUターンに関する情報発信や、本県へのIJUターンを検討・希望される方に対するきめ細やかな相談対応を民間の方々とも連携し総合的かつ一元的に行った。</p> <p><センターの運営></p> <p>(1)鳥取県移住定住サポートセンターの運営 サポートセンターを設置し、県外からの移住希望者等の相談等に応じた。 ・相談4580件(東京2697件、大阪1162件、鳥取721件)</p> <p>(2)県外相談窓口の運営 ○関西相談窓口:関西本部に田舎暮らしコーディネーター(非常勤職員2名)を配置。 ・相談件数1162件(来所100件、電話・メール等1062件) ○東京相談窓口:東京本部に田舎暮らしコーディネーター(非常勤職員1名)を配置。 ・相談件数2697件(来所44件、訪問等241件、電話・メール等2412件)</p> <p><情報発信></p> <p>(3)田舎暮らし関連雑誌等によるPR 「田舎暮らしの本」とタイアップし、本県へのIJUターンをPRする記事を掲載するなど情報発信を図った。(12回)</p> <p>(4)電子広報の強化 インターネットやメール配信等、県内外イベントの周知や就職・住宅情報等の発信を行うとともに、とっとり移住定住ポータルサイトのスマートフォン対応、フェイスブックの立ち上げ等広報機能の充実を図った。 ・トップページアクセス件数 45,651件 ・メールマガジン登録者数(H25年度末) 3,618件</p> <p>(5)いいね!とっとりCM(DVD)プロジェクト【とっとり暮らし定住促進モデル事業】 とっとり暮らしの魅力を発信するため、移住定住実践者、IJUターン支援者による2分動画を作成し、相談会等での上映、移住定住ポータルサイト、市町村・関係団体のHP、ソーシャルメディア等を活用したPRを行った。(20本)</p> <p><相談機会の提供></p> <p>(6)移住定住相談会の開催 県外での移住定住相談会を、市町村及び関係機関と連携して実施した。(大阪2回)また、島根県と合同実施する合同企業説明会と同会場で移住のセミナー等も実施。(東京、大阪、広島)その他、新・農業人フェア、ふるさと回帰フェア等、他団体主催のイベントにも参加した。(計15回、相談件数761件)</p>	

事業名	概要
<p>【鳥取へIJU！お試し住宅整備事業】</p> <p>決算額 5,000千円 (財源内訳)</p> <p>一般財源 5,000千円</p> <p>【とっとり暮らし移住マッチングモデル事業】</p> <p>決算額 747千円 (財源内訳)</p> <p>一般財源 747千円</p>	<p>(7)移住セミナー等の開催 本県への移住定住希望者等を対象としたセミナー、出張相談等を実施した。 ・セミナー(東京4回、大阪7回) 出張相談(東京1回、大阪3回) 平日ナイター相談(東京1回、大阪8回)など(参加212名)</p> <p>(8)とっとり暮らしアドバイザー(仮称)の委嘱【とっとり暮らし定住促進モデル事業】 移住定住された方を「とっとり暮らしアドバイザー」として委嘱し(12名)、移住定住サポートセンターや市町村等とも連携しながら、ご自身の経験を活かして移住希望者等の相談に応じていただく体制を整備した。</p> <p><体験機会の提供></p> <p>(9)とっとり暮らし体験ツアーの実施 本県への移住定住希望者等に対して「とっとり暮らし」を体験するツアーを開催した。 (東京2回、大阪3回、参加91名)</p> <p>(10)民間による移住促進活動の推進【とっとり暮らし定住促進モデル事業】 民間団体が行う都市部との交流事業など移住の促進に繋がる活動に対して支援した。(8団体)</p> <p>2 受入体制の整備</p> <p>(1)市町村への移住定住推進交付金の交付 移住者向けの空き家改修費の支援等、市町村による移住定住の取組を支援した。 (12市町、18,386千円)</p> <p>(2)お試し住宅の整備【鳥取へIJU！お試し住宅整備事業】 市町村が取り組む「お試し住宅」の整備費に対して補助金を交付した。 (1町、5,000千円)</p> <p>(3)民間活力を活用した市町村の取組支援【とっとり暮らし移住マッチングモデル事業】 民間団体と協働して、地域にある空き家等の地域資源を発掘し移住希望者等の要望とマッチングさせる市町村の取組を支援した。(2件)</p> <p>3 いつかは・いつまでも「とっとり暮らし」タスクフォース会議の開催 移住者受入2000人の目標を達成するため、分野・課題別に移住者・地域の方等現場の実情を交え、今後の施策の方向性について議論を行った。(4回) →移住2000人達成事業を事業化 情報発信の強化…東京での市町村合同相談会の初開催や、全国へのとっとり暮らしの魅力発信など、移住者獲得に向けた情報発信を強化する。 受け皿づくりの強化…移住の受け皿となる地域での受入体制の強化を進める。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○県や市町村だけでなく、民間の方々(団体、移住者等)とも連携しながら移住定住の推進に取り組んだ。</p> <p>○電子媒体による情報発信力に着目し、これらの充実を図った。</p>

事業名	概要
	<p>ウ 成果</p> <p>県事業、市町村への支援事業に加え、民間団体等と連携した事業にも取り組むなど施策の充実を図った結果、移住者数は着実に伸びつつある。</p> <p>【鳥取県への移住状況】(平成25年度末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住者数は962人(平成23年度からの累計2,172人) ○年代別にみると20～30代が多い。 ○理由別にみると、20～40代は就職が中心。結婚・子育ても目立つ。 50代以上は退職等による帰郷、田舎暮らし志向が中心。 ○近畿地方(大阪、兵庫)からの伸びが目立つ。中国地方(岡山)、関東地方(東京)がこれに続く。 <p>エ 課題</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所が、鳥取県の人口が2040年には44万人にまで減少すると推計するなど、今後さらなる人口減少・高齢化が見込まれている。</p> <p>地域社会の維持・活性化のためには、長期的に見れば地域の将来を担う子どもや若い世代の確保が必須となっており、今後は首都圏など、近畿圏以外でも情報発信を強化し、子育て世帯を中心とした移住を促すとともに、地域における移住者受入体制を整備するなど、より効果的な施策展開を進めていく必要がある。</p>

7 決算調書
(総括表)

一般会計

(単位:円)

区分	科目	予算			現額			決算額 B	決算額の内訳		翌年 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続事業費 繰越額	継続事業費 繰越額	支出及び 流出	備費 増減		計 A	本庁			
	一般管理費				117,510			117,510			0	0	
	自治振興費	240,715,000	△ 30,050,000	0	0	0	210,665,000	131,322,855	13,714,135	0	0	65,628,010	
							0	0				0	
							0	0				0	
							0	0				0	
							0	0				0	
							0	0				0	
	合計	240,715,000	△ 30,050,000	0	117,510		210,782,510	131,440,365	13,714,135	0	0	65,628,010	
とつと 基金繰入	愛 入 金	90,538,000	△ 32,238,000	0	0	0	58,300,000	39,193,821	0	0	0	19,106,179	
同 上	雑 入	340,000	0	0			340,000	412,188	198,030	0	0	△ 270,218	
							0					0	
							0					0	
							0					0	
							0					0	
							0					0	
内	小計	90,878,000	△ 32,238,000	0	0	0	58,640,000	39,606,009	198,030	0	0	18,835,961	
内	一般県費充当	149,837,000	2,188,000	0	117,510		152,142,510	91,834,356	13,516,105	0	0	46,792,049	
内	合計	240,715,000	△ 30,050,000	0	117,510		210,782,510	131,440,365	13,714,135	0	0	65,628,010	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(一般管理費) 赴任旅費	117,510	117,510		0	1名分
目計	117,510	117,510		0	
(自治振興費) (主)若者定住等による集落活性化総合対策事業	19,300,000	8,901,000		10,399,000	主な事業に関する調べに記載
(主)みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業	23,828,000	17,227,228		6,600,772	主な事業に関する調べに記載
(主)中山間地域活力創出若者活動支援事業	2,206,000	1,803,960		402,040	主な事業に関する調べに記載
(主)中山間地域の持続可能な生活支援システム実証事業	3,550,000	3,360,275		189,725	主な事業に関する調べに記載
(主)中山間集落セルフチェック事業	1,645,000	1,644,027		973	主な事業に関する調べに記載
(主)中山間集落見守り活動支援事業	603,000	130,305		472,695	主な事業に関する調べに記載
(主)地域活性化のための空き家等活用促進事業(9月補正)	34,058,000	11,953,000		22,105,000	主な事業に関する調べに記載
中山間地域づくりサポート体制構築事業	22,899,000	16,840,968		6,058,032	○各総合事務所中山間地域振興チーム(担当)に非常勤職員地域づくりサポーターを配置(5名)。 ○加えて、中山間地域で活性化活動に取り組む者及び市町村などを対象に、先進事例を学ぶセミナーを開催。(11月1日、湯梨浜町水明荘、100名参加) ○さらに、地域おこし協力隊及び市町村を対象に隊員OBを講師に研修会を開催。(10月17日、倉吉市、50名参加)
中山間地域振興費	4,603,000	3,748,442		854,558	中山間地域に係る施策の調査・検討や国や各県、財団等との連絡調整を行った。
(主)まちなか暮らし総合支援事業	3,000,000	395,000		2,605,000	主な事業に関する調べに記載
(主)とっとり移住定住支援事業					主な事業に関する調べに記載
とっとり移住定住支援事業	84,518,000	70,345,585		14,172,415	
とっとり暮らし定住促進モデル事業	3,600,000	2,920,200		679,800	
とっとり暮らし移住マッチングモデル事業	1,000,000	747,000		253,000	
週末は“とっとり暮らし”お試し起業・創業体験モデル事業	855,000	20,000		835,000	
鳥取へ！JUI！お試し住宅整備事業	5,000,000	5,000,000		0	
目計	210,665,000	145,036,990	0	65,628,010	
合計	210,782,510	145,154,500	0	65,628,010	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ
(1)～(5) 該当なし

(6) 諸収入

(単位：円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	雑入	1	285,000	285,000	0	0	(財)自治総合センターよりの交付通知	平成25年度(財)自治総合センター事務費交付金
			7	58,188	58,188	0	0		非常勤職員雇用保険料の自己負担分
			1	69,000	69,000	0	0	市より返還の申し出	平成24年度鳥取県移住定住推進交付金の返還
		計(節)	9	412,188	412,188	0	0		
		本庁執行分計(目)	9	412,188	412,188	0	0		
雑入	雑入	雑入	1	198,030	198,030	0	0	町より返還の申し出	平成22年度中山間地域地域コミュニティビジネススタートアップ支援事業補助金の返還
		出納機関執行分計(目)		198,030	198,030	0	0		
		目計		610,218	610,218	0	0		
		合計		610,218	610,218	0	0		

(7) 現金の取扱状況 該当なし

- 13 税外収入未済額調べ 該当なし
- 14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 15 税外収入不納欠損額調べ 該当なし
- 16 債務負担行為の状況調べ 該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等(規約、要綱等を含む。)	備考
自治振興費	300,000	単県	平成25年度移住・交流推進機構年会費	移住・交流推進機構	定額	25.04.16	300,000	同機構定款	
自治振興費	3,780,000	単県	ふるさと暮らし情報センターブース設置負担金	NPO法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター	定額	25.9.12外	3,528,000	同センターブース設置規約、協定書	
自治振興費	367,200	単県	平成25年度全国過疎地域自立促進連盟会費	全国過疎地域自立促進連盟	定額	25.4.30	367,200	同連盟規約	
自治振興費	900,000	単県	一般財団法人地域活性化センター平成25年度会費	一般財団法人地域活性化センター	定額	25.5.27	900,000	同センター寄付行為	
支出金額が10万円未満のもの							50,000		
本庁執行分計							5,145,200		
出納機関執行分計							0		
目計							5,145,200		
合計							5,145,200		

(2) 補助金

予算科目(自治振興費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認又は内示年月日	着手年月日	額の確定年月日	支出の状況		備考
				交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	概算払精算別の別	支出年月日	
事業の内容			補助率及び補助金額	交付決定年月日	実績報告年月日	審査・現地調査年月日			
若者定住等による集落活性化総合対策事業費補助金 (H 25年度)	智頭町 2件	○	11,118,000	25.9.12	-	26.5.7	精算	26.5.16 他	7,401,000
			(補助率: 2/3)	25.9.13	-	-			
			7,401,000	25.9.30	26.3.31	26.4.23			
みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業費補助金 (H 24年度)	鳥取市 2件	○	12,662,000	25.11.26	-	26.4.30	精算	26.5.13	6,331,000
			(補助率: 1/2)	25.12.26	-	-			
			6,331,000	26.1.9	26.4.10	26.4.22			
みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業費補助金 (H 24年度)	湯梨浜町ほか1件	○	23,907,963	25.11.14	-	26.5.7	概算一部精算	26.1.31 26.5.15 26.5.20	6,000,000 1,228,000 4,725,000
			(補助率: 1/2)	25.11.27	-	-			
			11,953,000	25.12.10	26.4.10	26.5.6			
みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業費補助金 (H 24年度)	智頭町山村再生推進協議会ほか3件		1,112,549	25.8.9	-	25.9.6	精算	25.9.13 他	1,102,828
			補助率: 10/10)	25.7.29	-	-			
			1,102,828	25.8.9	25.9.3	25.9.5			

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了年月日	検査 年月日	概算 払精 算払 の別	支出年月日		金額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
とっとり暮らし定住促進モデル推進事業費補助金 (H 25年度)	NPO法人田舎暮らしの応援団ほか6件		913,110	-	-	25.11.1	精算 払他	25.11.26 他	619,080	
民間による本県へのIJUターンを促進する活動を支援			補助率: 10/10)	25.5.31	-	-				
			619,080	25.6.27	25.10.25	25.10.31				
とっとり暮らし支援課執行									27,406,908	
東部振興課執行									12,503,000	担当替
本庁執行分計									39,909,908	
出納機関執行分計									4,500,246	中・西・日野
単 県 分 計									44,410,154	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。									

(2-2)補助金(他課から予算の担当替えを受けて執行するもの)

該当なし

(3)交付金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等(規約、要綱等を含む。)	備考
支出金額が10万円未満のもの									
本庁執行(とっとり暮らし)							0		
本庁執行(東部振興課)							10,139,000		担当替
出納機関執行分計							8,247,000		中・西・日野
目 計							18,386,000		
合 計							18,386,000		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替を受けて執行したもの)

予算科目 (目)	国 補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			人札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約期間				支出 区分	支出 年月日	金額	
					変更契約(最終)	契約期間						
労政総務費	単 県	「鳥取県移住定住サ ポートセンター」業務委 託	(公財)ふるさと鳥取県 定住機構	50,119,000	(25.4.1) 50,119,000	25.4.1 ~ 26.3.31	— (免除)	26.3.31	概 概 概	25.4.26 25.7.19 25.10.15 26.1.20 26.5.14	2,327,000 2,723,000 3,320,000 2,159,000 △2,708,626	特定の者しか納 入できない 契約額のうち労政 総務費 10,529千円
							随	26.4.23	戻入	4,791,469		
労政総務費	単 県	とっとり暮らしバンクシ ステム整備事業業務	(公社)鳥取県宅地建 物取引業協会	4,792,000	(25.4.1) 4,791,469	25.4.1 ~ 26.3.31	— (免除)	26.3.31	概 戻入	25.4.23 26.4.28 26.5.16	△712,654 △2,788,063	特定の者しか納 入できない
							随	26.4.17	更正			
					()	~	()					
					()	~	()					
					()	~	()					
					()	~	()					
予定価格が20万円 未満のもの												
本庁執行分計											9,111,126	
出納機関執行分計												
目計											9,111,126	

(単位:円)

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替を受けて執行したもの)

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア～ケ 該当なし

コ 出資による権利

(平成26年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出捐金	5,000,000			5,000,000	(財)地域活性化センター	
合 計	5,000,000			5,000,000		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	50円	9,600円	8,080円	1,570円	
合 計	50円	9,600円	8,080円	1,570円	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
22 枚	0 枚	4 枚 3,910 円	18 枚

(3) 基金、(4) 債権 該当なし

20 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

27 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特段の要望なし